

お世話になります!

アイスのお仕事

クライアント突撃レポート

アイスのナビゲーター(案内人)がinformation bridgeをご利用頂いたお客様のもとへお伺いし、対談するコーナーです。

株式会社豊蔵組
村田 俊 様

株式会社豊蔵組 様 X 株式会社アイス



Navigator
株式会社アイス
営業部
北川 寛大

材料確認の様子

北川 遠隔臨場について、利用した経緯は何ですか?新しい取組みへの抵抗はありましたか?

村田様 石川県は自主施工を行っている、そこから遠隔臨場の試行要領が出たのがきっかけです。発注者の方から「ぜひ遠隔臨場をやっていただけませんか?」と提案をしていただいたので、利用に至りました。講習会も頻繁に行っていたのもあり、そこまで抵抗なく、遠隔臨場を行うことができました。

北川 遠隔臨場のメリットは何だと思いますか?

村田様 発注者側からすると、現場に行かなくてよくなるので、車の運転もなくなりガソリン代や維持費が削減できるというメリットがあると思います。本来は時間内に臨場を行わなければならないのですが、現場の状況で臨場が早まったり、遅くなったりするので、作業員さんを15分程度待たせてしまう場合があります。遠隔臨場を行うと、臨場を行う直前に発注者に電話して臨場を行うことや、臨場を行う時間を提案できるので、発注者も作業員さんも待ち時間がなく、臨場可能なのがメリットですね。あと、夜間で使えたら便利ですね。今後試したいと思っています。

北川 豊蔵組さんの遠隔臨場を見学させていただきましたが、臨場を1日に2回行うこともあるんですか?

村田様 実は今日、3回行ったんですよ。午後の2回目と3回目で材料確認と段階確認を見ていただきましたが、午前中にも掘削完了の確認を遠隔臨場で行いました。3回とも円滑に行うことができました。

北川 1日に3回考えると、遠隔で臨場を行うことで、発注者の移動時間や待ち時間が大幅に削減できますね!

村田様 そうですね。今月がピークで10回程度行うので、土木事務所から現場が車で20分かかるので、移動だけで3時間くらいの時間の削減になりますね。

北川 弊社としても遠隔臨場の普及に向けて頑張りたいと思います! アイスの遠隔臨場の使いやすさはいかかでしょうか?

村田様 シンプルで使いやすいと思います。いきなり初心者が使っても使いやすいと思います。

北川 弊社は現場が使えるシステムを提供したいと思っているので、そう感じていただけてうれしいです! 貴重なご意見ありがとうございます! 今後も現場の意見をシステム提供とサポートに生かしていきますので、何かあればお電話ください!

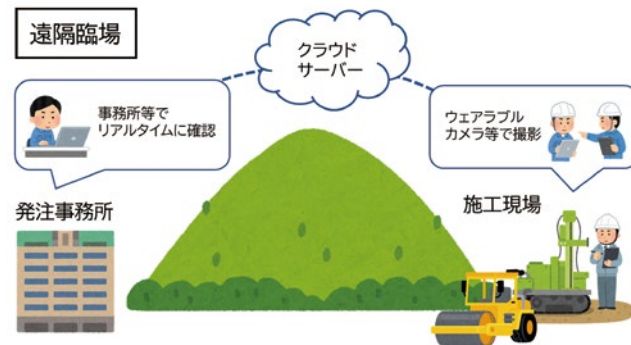
ジンバルと遠隔臨場システム



遠隔臨場

遠隔臨場とは、ウェアラブルカメラやネットワークカメラを活用し、現場に行かずとも離れた場所から臨場を行うことです。主に段階確認、材料確認、立会などを行います。遠隔地同士でもリアルタイムでのやりとりが可能になり、移動時間や待機時間の大幅な削減ができ生産性の向上につながります。

遠隔臨場イメージ図



遠隔臨場導入で期待できる効果

1. 移動時間の短縮
2. コスト削減が可能
3. 人手不足の解消
4. 生産性向上